

一般会計の歳入と歳出

歳入

市税

給与所得者の減少による個人市民税の減額や土地の評価替えに伴う固定資産税の減額が見込まれるため、前年度比2.0%減の36億7,668万円を見込んでいます。

繰入金など

超高速情報通信網整備事業のため、地域振興基金から5億1,447万円、「庄原いちばん基本計画」に計上した事業の実施のため、過疎地域自立促進基金から3億5,763万円を繰り入れることなどにより、前年度比26.0%増の23億3,649万円を見込んでいます。また、財源調整のため財政調整基金から1億円を繰り入れることとしています。

市債

長期総合計画に計上した各事業を実施するための財源として、前年度比2.0%減の38億6,630万円を見込んでいます。

本年度は、超高速情報通信網整備事業に5億5,030万円、庄原小学校改築事業に3億8,570万円、斎場整備事業に8,190万円などの借入を予定しています。

歳出

人件費

地域おこし協力隊員や学校図書館の司書の増員、また、平成27年度に行われる国勢調査の調査員報酬などを見込んでいることから、前年度比0.6%増の42億7,587万円となりました。

扶助費

平成26年度に実施された臨時福祉給付金事業や子育て世帯臨時特例給付金事業が減額となったことから前年度比2.7%減の36億8,756万円を見込んでいます。

災害復旧事業

平成26年8月に発生した豪雨災害の復旧を本年度も行うことなどから、前年度比68.5%増の2億1,721万円となりました。

物件費・維持補修費

平成27年10月から全国的に開始される「社会保障・税番号（マイナンバー）制度」に伴う各システムの改修費や、老朽化した橋の点検を行うための費用などにより、前年度比9.7%増の42億4,539万円を見込んでいます。



補助金ガイドブック(平成27年度版)をご活用ください

市民の皆さんが、「生活の場」、「地域活動の場」など多様な場面で活用できる補助事業(補助金)を一覧表にまとめました。ガイドブックは、財政課・各支所総務室、市のホームページから入手できます。

平成27年度予算

次世代につながる“庄原いちばん”予算

財政課財政係 ☎0824-73-1129

予算編成のポイント

② 将来を見据えた財政運営
市債(市の借金)の平成27年度末の残高見込みは約404億円(一般会計)で、平成17年度の約574億円から、着実に減少しています。

また、市制施行10周年記念事業を計上し、新庄原市誕生10周年として、特色のある予算となっています。

① 特色のある予算編成
具体的には、本年度が最終年度となる「第1期庄原市長期総合計画」に掲載された事業を確実に実施すること、「第2期庄原いちばん基本計画」に掲載された事業を推進することを重点事項として配分しました。

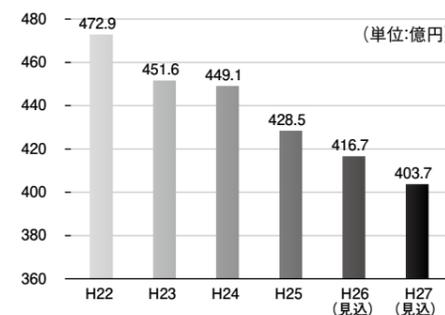
また、市制施行10周年記念事業を計上し、新庄原市誕生10周年として、特色のある予算となっています。

① 特色のある予算編成

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも致しません。
※▲はマイナスを表しています。

庄原市の1年間のお金の使い方をまとめた平成27年度予算が決定しました。全ての会計を合わせた市全体の予算規模は480億5295万円で、前年度から8億5008万円の増額となりました。「長期総合計画」・「庄原いちばん基本計画」に掲載した事業を中心に、市民の皆さんが「心のいちばん」を実感できる、次世代につながる庄原市の実現に向けた予算編成を行いました。

市債残高の推移 [一般会計]



本年度借り入れる予定の市債38億6630万円については、返済額の7割が国からの地方交付税に算入される過疎対策事業債や合併特例債などを中心に、有利な種類の市債を活用していきます。また、将来にわたって計画的にソフト事業が実施できるよう、平成26年度に創設した「過疎地域自立促進基金」を活用し、安定した財政運営を行っていきます。

会計別予算額

会計名	27年度予算額	26年度予算額	増減額	増減率
一般会計	311億8,441万円	305億6,186万円	6億2,255万円	2.0%
特別会計	137億7,415万円	134億4,828万円	3億2,587万円	2.4%
住宅資金特別会計	585万円	627万円	▲42万円	▲6.7%
歯科診療所特別会計	2,514万円	2,503万円	11万円	0.4%
休日診療センター特別会計	1,302万円	1,363万円	▲61万円	▲4.5%
国民健康保険特別会計	47億4,992万円	41億8,820万円	5億6,172万円	13.4%
国民健康保険特別会計(直診勘定)	9,742万円	1億714万円	▲972万円	▲9.1%
後期高齢者医療特別会計	6億5,223万円	6億5,436万円	▲213万円	▲0.3%
介護保険特別会計	62億4,546万円	64億290万円	▲1億5,744万円	▲2.5%
介護保険サービス事業特別会計	4,676万円	4,780万円	▲104万円	▲2.2%
公共下水道事業特別会計	9億4,319万円	9億263万円	4,056万円	4.5%
農業集落排水事業特別会計	3億8,844万円	3億8,275万円	569万円	1.5%
浄化槽整備事業特別会計	2億1,955万円	2億6,068万円	▲4,113万円	▲15.8%
簡易水道事業特別会計	3億1,750万円	4億1,379万円	▲9,629万円	▲23.3%
工業団地造成事業特別会計	6,769万円	3,995万円	2,774万円	69.4%
宅地造成事業特別会計	199万円	317万円	▲118万円	▲37.2%
企業会計	30億9,150万円	31億9,032万円	▲9,882万円	▲3.1%
水道事業会計	17億3,821万円	18億1,444万円	▲7,623万円	▲4.2%
病院事業会計	13億5,329万円	13億7,588万円	▲2,259万円	▲1.6%
比和財産区特別会計	290万円	240万円	50万円	20.8%

市は、木山耕三市長の提唱する新たな視点での基本政策である“庄原いちばんづくり”を進めるため、「第2期 庄原いちばん基本計画」を策定しました。

第2期 庄原いちばん基本計画を策定しました!



「庄原いちばん基本計画」
平成25年11月、庄原いちばんづくりの3つの分野別政策に属する施策・事業を推進するため、平成25～26年度の期間内に取り組む事業を取りまとめた「第1期 庄原いちばん基本計画」を策定しました。
今回策定した「第2期 庄原いちばん基本計画」は、「第1期計画」から3つの分野別政策

「庄原いちばんづくり」とは
木山市長の就任以来、直面する課題を克服し、活力ある庄原市の実現に向け、長期総合計画の基本政策などを踏まえ、「地域産業」・「暮らしの安心」・「にぎわいと活力」の3つの柱（分野別政策）で構成する「庄原いちばんづくり」を、新たな視点での基本政策として位置付けています。
この「いちばんづくり」の「いちばん」とは、決して数値や量、順位などを基準としたものではなく、「しあわせ」や「安心」、「達成感」や「満足感」といった、心の「いちばん」を実感できること、「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と思える「まちづくり」を意図したものです。

計画の全文は市ホームページに掲載しています。



や施策・事業を承継し、さらに、その方向性に沿った「次代につながる庄原市」の実現に向けた新たな取り組みを加え、平成27～28年度の期間内で最優先すべき施策・事業を整理した計画としています。
また、「第2期計画」を取りまとめるにあたっては、「安心を感じる」ことのできる生活環境の集約化（コンパクトシティ※）と、「市内各地の観光、農産物、文化・伝承などの豊富な資源を有機的に繋げる地域資源の活用」という、2つの新たな着想を踏まえています。
これらの新たな着想は、現在検討中の第2期長期総合計画の中で、本市の将来像を描く全体構想として検討しており、庄原いちばんづくりにおいてもこの着想の具体化に向け取り組めます。
※コンパクトシティ：生活に必要な機能を一定の地域に集約化した都市形態

新たな視点での政策

庄原いちばんづくり

「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」

分野別政策

地域産業のいちばん!

農林業 6次産業
商工業 ほか

- ① ブランド化の推進 新規
- ② 新たな農産物の産地化
- ③ 6次産業化の推進
- ④ 持続可能な農業への支援
- ⑤ 林業振興とさとやま環境の整備
- ⑥ 地元事業者の経営支援

施策

暮らしの安心のいちばん!

保健・医療・介護・福祉
教育・危機管理 ほか

- ① 子育て支援の充実
- ② 医療体制の整備
- ③ 安心と生きがいを感じることのできる環境整備
- ④ 地域防災の推進 新規
- ⑤ 次代を担う子どもの育成と教育環境の充実

にぎわいと活力のいちばん!

若者定住 観光交流
自治振興 ほか

- ① 観光交流の推進
- ② 若者定住の推進
- ③ 転入定住の促進
- ④ 帰郷定住(Uターン)の推進
- ⑤ 地域づくり活動の支援
- ⑥ 生涯学習の充実 新規

「いちばん」は、一部を除き「庄原いちばん基本計画」に掲載した事業です。

平成27年度の主な事業



- ▶ 自治振興センターの整備 いちばん 3,126万円
比和自治振興センターの改修、高自治振興センターの駐車場整備や東城地区の自治振興センターへのエアコン整備を行います。
- ▶ 地域おこし協力隊の推進 2,933万円
現在の4人から8人に増員し、地域の活性化を推進します。



- ▶ 多面的機能支払事業 1億9,417万円
地域の共同活動を支援し、農地などの保全、農村環境の向上や農業用施設の長寿命化を図ります。
- ▶ 森づくり事業の推進 いちばん 1億7,249万円
手入れが不十分な森林を再生し、地域住民の生活に密接した環境林となるよう整備を行います。
- ▶ 大学連携事業 920万円
県立広島大学の技術を活用して地域課題の解決や新産業の創出をめざす事業に対して負担し、産学官連携を推進します。



- ▶ 避難所表示看板などの整備 いちばん 1,783万円
災害時の指定避難所へ表示看板を設置するとともに、案内標識や避難所マップ看板を設置します。
- ▶ 橋の長寿命化 いちばん 1億5,660万円
老朽化した橋を点検し、計画的に修繕を行います。



- ▶ 生活困窮者などの支援 987万円
生活困窮者に対する自立のための相談、住宅確保のための給付金の支給などの支援を行います。
- ▶ 保育所の整備 いちばん 9,800万円
高保育所・山内保育所の耐震化、西城保育所の移転改築を行います。
- ▶ 健康増進の取り組み 5,010万円
ショッピングセンターでのがん検診や、生活習慣病健診の実施、啓発事業などを通して健康づくりを推進します。



- ▶ 特別支援教育の充実 4,882万円
特別支援教育支援員を増員し、各学校と連携して児童生徒の必要性に応じた相談支援体制の充実を図ります。
- ▶ 学校施設整備および耐震化 いちばん 8億3,136万円
学習環境の充実を図るため、中学校の普通教室への冷房施設整備、庄原小学校のプール整備、美古登小学校のトイレ改修を行います。また、庄原小学校の改築、東城小学校の屋内運動場天井落下防止対策を行い耐震化を図ることで、学校施設の安全性を確保します。



- ▶ 県営大規模農業生産団地の整備 いちばん 2,410万円
東城町・高野町でキャベツの生産団地を整備し、産地化を図ります。
- ▶ 転入定住の促進 いちばん 2,760万円
定住相談会の開催、転入定住者の住宅取得・改修費用への助成、起業支援などにより、定住の促進を図ります。